
うし田うし男の生活日記 0

かあかあからす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

うし田うし男の生活日記 0

【Nコード】

N4079C

【作者名】

かあかあからす

【あらすじ】

日々命を狙われているうし田うし男。今日もうし田はスナイパーに命を狙われていた。そんなうし田の生活日記を記したものがこれ。

「これだけ用意したんだから、必ず成功させる」

「そんなの分かってる。しかし何でこんなやつを殺すんだ？はつきり言ってこいつにそんな価値ないぞ？」

「お前ともあるうものがこいつのことを知らんのか？こいつにはある伝説があつてな」

「何だ、その伝説って？」

「何でもどんなに凄腕の殺し屋でもこいつだけは殺せないんだ」

「何故？」

「うんなもん知るか。ああそう、しかもあの超凄腕の殺し屋『バ・ドギューン』出すら殺せなかつたやつだからな」

「な・・・あの『バ・ドギューン』ですら殺せなかつたのか？『バ・ドギューン』といえば『世界で最も恐れられている殺し屋ランキング3年連続1位』『こいつになら殺されてもいいやつランキング5年連続1位』『こいつに銃を持たせたら止められるやつはいないランキング8年連続1位』『世界で最も銃とアイスクリームが似合うやつランキング2年連続1位』『世界で最もトイレで考え込むのが似合うやつランキング堂々の12年連続1位』で殺し屋になったやつは1度でいいからとおきたい1番名誉のある『世界で最もクラーの聞いた部屋が似合わないやつランキング第1位』をもっている、『アリゾナの非食者』異名を持つ世界一の殺し屋じゃない

か？」

「ああ、そうだ。あいつでも殺せないんだからな。その分成功したらお前が天下を取る時代がやってくるぞ」

「おお、必ず成功してやる」

「その分失敗したら全額返してもらおうぞ」

「ふん、この俺が失敗すると思うか？『世界でもっとも銃だと思つて発砲したら水鉄砲でした、の落ちが似合うやつランキング堂々の13年連続1位』の俺が」

「ああ、そうだったな。なんにせよミッションの成功を祈る」

スナイパー・ヤラレンは早速標的であるうし田うし男のもとへと向かっていった。

一方その頃うし田うし男はもうすぐ自分が殺されるかもしれないのにのんきに松坂牛のサーロインステーキ400gを食べていた。いつておくがうし田うし男は牛ではない。れっきとした人間である。そこら辺は分かっている。欲しい。

うし田はステーキ屋を出て自宅である倉庫へ向かった。決して外国への輸入のためではない。そこら辺は分かっている。欲しい。

「え？タバコの箱？普通はライターとかだろ？タバコの箱で命救われたなんて聞いたことねーぞ？」

「だが俺はこうして生きている」

ともう死にそうな声で返した。

「つかタバコがぎっしり詰まっても多分生きちゃいねーぞ。しかもその箱穴開いてるし。だいたいこういうのってライターとかに弾が刺さってだろ？」

「こん中さ」

とお坊さんが読み上げるお経のような声で返した。

ヤラレンはタバコの箱を開けてみた。

中が空だ・・・

「弾入ってねーぞ」

そう言うとうし田が

「誰が弾がそんなに入っているといった？」

「はあ？さっきお前があたかもこの中に弾が入っているぞ言う口調で言ったじゃねーか？」

「そう言ったただけだ」

とかの羽音よりもすごい感じで返した。

「それにしてもオマー、よく生きてられるな？」

「すごいだろ、俺はこんなときにためにタバコの空箱を集めてるのさ。しかもまだ後20個はスピアがある。どうだ驚いただろ」

とうし田が言うのでヤラレンは

「どちらかというど頭悪いだろっ」

と正論を述べた。

「どつちにしてもテメーの失敗だ。とつとと帰りな」

といい胸に隠してあったじゅうで、ヤラレンの心臓をぶち抜いた。

その日もうし田は狙われていた。

今度は『アラスカの小魚』の異名を持つエ・ザコインという凄腕スナイパーだった。

がんばれうし田、負けるなうし田、天国はまだお前を迎える準備が整っていないぞ。

今日も特上のステーキ食べて生き延びる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4079c/>

うし田うし男の生活日記 0

2011年1月15日02時33分発行